



医薬品メーカーなど向けの小型検査機



鈴木 周一 社長

【豊橋】食品・医薬品業界向け機械開発・販売のアドバンスフードテック（本社豊橋市北若田一ノ二ノ五、資本金二千六百万円、鈴木周一社長、電話0532・65・1888）は、豊橋技術科学大学エロジー工学系田中三郎教授と、超伝導体センサ（SQUID）を使った超高感度な金属異物検出システムを開発し、受注を開始した。現在最も感度が高いとされるエックス線検査機の数倍の感度を持ち、装置価格は同等ながらランニングコストを十分の一以下に抑えるという。

アドバンスフードテック

超高感度の超伝導体センサ使い

金属検出装置を開発

豊橋技科大と共同で

ビールメーカーなど採用

同社は、食品・医薬品業界向けの先端技術開発各種を手がけ、年商は五億円（〇四年三月期見込み）。今回開発したSQUIDは田中教授が実用開発したもので、セナノメートルのすき間を持った磁気スイッチ。地磁気の百万分の

三河・静岡

三河支社 岡崎市明大寺町寺東5-3 鈴熊ビル 0564(52)2260 FAX 0564(54)2336
豊田支局 豊田市梅坪町6-1-1ケイユウマンション302号 0565(34)1553
刈谷支局 刈谷市相生町2-11植松会計ビル 0566(21)6106
豊橋支局 豊橋市駅前大通3-118大豊むらかみ産業ビル 0532(54)2668
浜松支局 浜松市塩町98番地 メゾンせいけい201号室 053(453)2488 FAX 053(452)6414
静岡支局 静岡市天王町3-9 マイライフ天王502 054(221)0541

るなど応用範囲は広い。SQUIDそのものはすでに開発されているが、製品化されるのは世界でも初めて（特許出願中）という。

この磁気センサを利用し、検出にとどまり、専任技師を必要とする上、画像で検査記録を残すため、ランニングコストも高い。同社のシステムでは、装置価格はエックス線式と同等ながら、ランニングコストは十分の一以下になるという。

同社のシステムでは、

約百円を公用車用燃料としてリサイクルしてきた。

今回、市内の飲食店・料理店・旅館の各組合の協力を得て、組合指定の飲食店など十数店から廃食用油月間約三百リットルの持ち込みを受け入れる。廃油から製造した燃料は公用車およびスクーターバスで使用する。

田原市が開始

田原市は、環境負荷の小さい「まじゅり」の二環として〇三年十一月から、廃食用油のリサイクル事業に取り組んでいるが、このほど、市内の一部事業者から廃食用油の受け入れを開始した。

公用車用燃料化の廃食用油 飲食店からも受け入れ

同市は昨年十一月に月産四百リットルの製造能力を持つ「廃食用油燃料化装置」を導入し、市役所内に設置した。以来、同市給食センターから出る廃食用油一カ月あたり

(田原)

名古屋へ本社機能移転

東海デジタルネットワーク 情報収集力を強化

【豊田】愛知、岐阜、静岡三県のケーブルテレビ局二十社に各種デジタル放送の配信事業などを手掛けている東海デジタルネットワーク（本社豊田市神田町、奥村博信社長）は、名古屋市内へ本社機能を移転す

有効求人倍

【豊田】豊田公共職業安定所がまとめた管内の有効求人倍率は、昨年十一月の有効求人倍

この利便性を考慮するとともに、市場や技術動向などの情報収集能力を強化するのが目的。従業員